

研究成果概要【Web 公開用】

所 属	兵庫県立大学大学院
氏 名	川村 教一

※本様式はデータで提出してください

研究の名称	鳥海山・飛島ジオパーク沿岸域における近世・近代採石跡地の調査
-------	--------------------------------

関連分野	文化地質学
------	-------

※研究分野（地質学／考古学／教育学等）について記載してください

対象フィールド	鳥海山・飛島ジオパーク
---------	-------------

※研究対象のジオパーク名（複数の場合は全て）記載してください

キーワード	石材、鳥海山、安山岩、採石、にかほ市
-------	--------------------

※研究に関するキーワードを 3 点以上記載してください

研究成果概要（A4 用紙で 1 枚程度）

申請者は、鳥海山の西麓にあたるにかほ市象潟町の海岸地域に、矢穴が穿たれた安山岩の残石があることに気付いた。そこで、にかほ市芹田から同市象潟町釜ノ上にかけての海岸線を対象として、踏査により礫浜表面に見られる長径約 0.5 m 以上の巨礫の観察を行い、残石の判定を行った。

現地踏査の結果、にかほ市の芹田、飛高森、飛飛ヶ崎、金浦港嶋、象潟町（立石、大塩越、鷹放、中橋町、二丁目塩越、荒屋下、川袋～大須郷で残石が見出された。川袋～大須郷では露頭に採石跡も見られた。調査結果に基づいて残石が分布する地区を、14 地区に区分した。具体的には、北から順に地区 A（芹田）、B～C（高森）、D（飛ヶ崎）、E（港嶋）、F～G（立石）、H～I（大塩越）、J（鷹放）、K（中橋町）、L（二丁目塩越）、M（荒屋下）、N（川袋～大須郷）である。第 1 表に各地区（地区 N を除く）における残石の集計数を示す。なお、地区 N における残石は極めて多いため、本調査では詳細な分布を明らかにすることはできなかった。

調査の結果、残石は複数の地点で見られ、一部の地点では残石群と呼べる規模であることが判明した。採石の痕跡として認められたのは、穿たれた矢穴や石材を割り取った痕のある巨礫（第 1 図 a、あるいは複数に分割された巨礫（第 1 図 b）、矢穴を伴う多面体の形状をした石材（第 1 図 c）である。第 1 表に各地区（地区 L を除く）における残石の集計数を示す。なお、地区 L における残石は極めて多いため、本調査では詳細な分布を明らかにすることはできなかった。これらの残石は、海岸に分布する象潟岩層なだれ堆積物から海食作用によって洗い出された巨礫が、その場で分割、石材として採石されたことを強く示唆する。

また、象潟町川袋の岩石海岸には小佐川溶岩の露頭があり、石材を採掘した跡がある。この採石跡付近にはきわめて多数の残石が見られ、比較的大規模に稼行していたと考えられる。これら石材の採掘年代を特定するためにはなお調査が必要である。

【文献】川村教一（2023）秋田県にかほ市の海岸に見られる安山岩残石の分布．地質と文化，6(2)，107-112.

第 1 表 調査地区別の残石数一覧

地区	地名	個数	備考
A	芹田	1	芹田岬
B	飛高森	1	
C	飛高森	12	
D	飛飛ヶ崎	13	由利波除石垣の海岸側
E	金浦港嶋	2	
F	象潟町立石	3	
G	象潟町立石	4	
H	象潟町大塩越	8	
I	象潟町大塩越	8	
J	象潟町鷹放	1	
K	象潟町中橋町	2	唐戸石付近
L	象潟町二丁目塩越	7	
M	象潟町荒屋下	2	
N	象潟町川袋～大須郷	(不記載)	残石多数，溶岩露頭にも採石跡



第 1 図 にかほ市の礫浜海岸にみられる残石の例。

a : 矢穴が穿たれた安山岩（地区 D），b : 切断面に矢穴が残る安山岩（地区 D），c : 多角形に割り採られた安山岩石材（地区 D），d ; 舟形に整形された安山岩石材（地区 I）。